



平成31年 1月18日

表彰団体決定！「わが村は美しくー北海道」運動 ～第9回コンクールの優秀賞13団体、奨励賞21団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動（以下「わが村運動」）第9回コンクールを開催し、全道61団体（59市町村）の応募の中から、選考の結果、農山漁村における地域の活性化や個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、**優秀賞13団体、奨励賞21団体**を表彰することに決定しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年から2年に一度、開催しています。（別添）

なお、来年度は、今回、表彰された全道の優秀賞の中から大賞を決定します。

留萌開発建設部管内からは3団体（優秀賞1団体、奨励賞2団体）が受賞しました。

なお、優秀賞及び奨励賞を受賞した3団体については、当部において後日表彰する予定ですが、日時等は決まり次第お知らせします。

1. 第9回コンクールの概要について 別紙1参照
2. 表彰団体の概要について 別紙2参照

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

わが村運動は、地域住民が主体となり、北海道の農山漁村・農林水産業を通じて地域づくりを行う活動に対して、様々な人たちが「参加しよう」、「広げよう」、「いいもの伝えよう」をキャッチフレーズにこうした活動にかかわっていかうとするもので、平成13年から行っています。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-42-2381

土地改良情報対策官 堀米 聡（内線277）

土地改良情報対策官付土地改良情報係 神山 友美（内線288）

留萌開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式ツイッターTwitterアカウント @mlit_hkd_rm





平成 31 年 1 月 18 日
北 海 道 開 発 局

「わが村は美しくー北海道」運動第 9 回コンクールの表彰団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成 13 年から 2 年に一度コンクールを開催しており、今年で 9 回目となります。

今回のコンクールには、全道から 61 件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞 13 団体、奨励賞 21 団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、表彰団体の応募先である各開発建設部ごとに行う予定ですので、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問合せください。

1. 第 9 回コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数

全道 59 市町村から 61 件（団体）の応募

(2) 審査経過

平成 30 年 3 月～ 6 月 募集

平成 30 年 7 月～ 11 月 全道 10 ブロック※での現地調査

（ブロック審査委員会による全応募団体の現地調査）

平成 30 年 11 月～ 12 月 ブロック審査委員会での審査

（現地調査の結果から、表彰団体の選考）

※各開発建設部の所管を 1 ブロックとしている。

2. 表彰団体について

(1) 優秀賞（北海道開発局長表彰）[13 団体]

- ▶ 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会 加工部会（江別市）
- ▶ 特定非営利活動法人 サトニクラス（月形町）
- ▶ 一般社団法人 i・スマイル（今金町）
- ▶ 北海道真狩高等学校（真狩村）
- ▶ ふらのカレンジャー娘（富良野市）
- ▶ J A とまこまい広域 厚真町ハスカップ部会（厚真町）
- ▶ 北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班（中標津町）
- ▶ 歯舞地区マリビジョン協議会（根室市）
- ▶ 特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会（鶴居村）
- ▶ 北海道士幌高等学校 乳加工専攻班（士幌町）
- ▶ 網走川土地改良区（美幌町）
- ▶ 株式会社 SOUL OBIRA（小平町）
- ▶ 豊富温泉コンシェルジュ・デスク（豊富町）

(2) 奨励賞（各開発建設部長表彰） [2 1 団体]

- ◇札幌ブロック [3 団体]
 - ・株式会社ふるさとファーム（札幌市）
 - ・江別酒米栽培グループ「すいせい」（江別市）
 - ・千歳市グリーン・ツーリズム連絡協議会（千歳市）
- ◇函館ブロック [3 団体]
 - ・谷観光農場（北斗市）
 - ・七飯の食を考える会（七飯町）
 - ・素敵な過疎づくり株式会社（厚沢部町）
- ◇小樽ブロック [1 団体]
 - ・ワインを楽しむ会（余市町）
- ◇旭川ブロック [3 団体]
 - ・第746なよろ煮込みジンギス艦隊（名寄市）
 - ・中川町商工会（中川町）
 - ・占冠村木質バイオマス生産組合（占冠村）
- ◇室蘭ブロック [1 団体]
 - ・北のなのはな会（安平町）
- ◇釧路ブロック [1 団体]
 - ・一般社団法人 音別ふき蔭団（釧路市）
- ◇帯広ブロック [3 団体]
 - ・北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用班（帯広市）
 - ・北海道士幌高等学校 環境専攻班（士幌町）
 - ・株式会社 なまら十勝野（芽室町）
- ◇網走ブロック [2 団体]
 - ・北海道東藻琴高等学校 農産加工班（大空町）
 - ・小清水町ルバーブ生産グループ（小清水町）
- ◇留萌ブロック [2 団体]
 - ・るもい農福連携推進協議会（留萌市）
 - ・上築有機米生産組合（羽幌町）
- ◇稚内ブロック [2 団体]
 - ・ワラベンチャー問寒クラブ（幌延町）
 - ・稚内農業協同組合 稚内牛乳（稚内市）

（受賞団体名は順不同です）



道の駅での販売の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

株式会社SOUL OBIRA

【小平町】

道の駅を拠点に小平町の魅力を発信

はじまりは？

小平町は、道内においてもブランド力は高くなく、主力産業である1次産業の衰退がかねてより懸念されていました。

そこで、「知名度・ブランド力の向上」を目指し、「情報の整理・法人活動の推進・地域住民参加」の3本柱を掛け、平成27年から道の駅おびら鯨番屋を拠点に、広く町内外・国内外に小平町のポテンシャルを周知させる活動を行うこととしました。

他地域との経済連携、移住定住のきっかけ作りに繋げ、北海道ローカル地域の未来像がより具体化することを目指します。

おもな活動

国道232号を利用するユーザーすべてに道の駅おびら鯨番屋をご利用頂き、

1. 地域商品・地元生産品をゆっくり体験していただく
また、試食・購入を通し小平町の魅力に気づいてもらう。
2. 地元スタッフと地元住民、旅人らが会話を通し親睦を深める。

3. 双方の情報をコミュニケーションすることにより産業の実像、地場の空気、歴史的または経済的な社会関係を構築する。

以上3点を目的として活動しています。



小平町の農産物

ここが自慢

【海の幸と山の幸をブランド化】

多くの国道ユーザーは小平町を「港町」と理解しています。しかし、漁業よりも農業のほうが規模も大きく、生産品も多岐にわたっています。「海の幸と山の幸」の双方が両輪となることにより小平町の魅力は最大限にユーザーに届くことになります。

道の駅アンテナショップ関係者との交流会により、商品開発の話題になり、新たな特産品も生まれました。

ここ【道の駅おびら鯨番屋】を訪れば、小平町のすべてがわかります。365日無休営業することにより、四季を通じて人々の営みを表現できる。町内外すべての人々に窓口はひらかれております。



小平町の特産品

連絡先

代表者名：角谷 亨仙さん／設立：2013年／会員：4名

住所：留萌郡小平町字鬼鹿広富
小平町観光交流センター内

電話番号：0164-56-1828

FAX：0164-56-1828

E-mail：－

URL：－



ピーマンの選果作業の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

るもい農福連携推進協議会

【留萌市】

障がい者の活躍する場を農業で増やす

はじまりは？

新規就農者をはじめとした地域農業の労働力不足の解消と、農業生産現場における障がい者の就労機会の創出に向け、平成29年5月に設立しました。

地域での障がい者等の就労支援体制の構築や、就労をサポートするための人材の確保、育成を図りながら、農業者と福祉関連事業者など、地域内外との様々な交流活動を通じて、就労意欲の向上と地域農業・食の発信、消費者・都市住民や地域住民との顔の見える交流活動を推進し、農村地域の再生と持続的な発展、新たな産業形成と基盤の強化を図ることを目的としています。

おもな活動

農業者、特に新規就農者は労働力が不足してしまうため、労働力の確保及び定着支援として、障がい者による作業支援を行い、労働力の確保を行っています。

また、農家と障がい者の間に入って活動を行う農作業サポーターを育成しており、農家と障がい者の関わりが円滑に行われるための橋渡し役的な役割を担っています。

現在、農福連携の活動では様々な人が参加しており、農福連携の活動が農業者や障がい者に重荷にならない様な取り組みを行っています。



大根収穫の様子

ここが自慢

【年間を通して仕事がある】

障がい者にとって、夏場はピーマンの選果や花の芽摘み、秋から冬にかけては切り干し大根作りに向けた大根の収穫や加工作業、そして、ハウス内での水耕栽培など1年を通して仕事があることから、外に出て仕事ができる喜びや、作業所以外で仕事することで賃金の上乗せにもなることから、仕事に対する意欲が出てきています。

また、新規就農者にとっても、切り干し大根の原料となる大根の栽培などにより収入の確保にもつながっていることから、とっても良い状況になりつつあります。



大根加工作業の様子

連絡先

代表者名：野原 守さん／設立：2017年／会員：8名

住所：留萌市幌糠町1862番地1
留萌市幌糠農業・農村支援センター

電話番号：0164-46-1156

FAX：0164-46-1156

E-mail：－

URL：－



はぼろ学講座での現地見学の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

上築有機米生産組合

【羽幌町】

減農薬栽培で海鳥と共生

はじまりは？

羽幌町の北部に広がる穀倉地帯「上築（かみちく）」は明治初期に先人達が福井県・石川県から集団入植し開墾した土地です。

この地で農家仲間が集まり平成19年に「上築有機米生産組合」を立ち上げ、農薬節減・有機肥料使用で栽培された「特別栽培米 おろろん」を生産し、直接販売を始めました。

おもな活動

羽幌町の「はぼろ学講座実行委員会」と連携して、減農薬栽培の学習や、特別栽培米水田の見学などを行っています。

また、羽幌町や環境省羽幌自然保護官事務所などで構成される「羽幌シーバードフレンドリー推進協議会」（平成30年発足）に参加し、水田で害虫を捕食する野鳥（海鳥）のフィールド調査などに協力しています。

平成30年からは、特別栽培米（ゆめぴりか）を「ORORON 海鳥の詩」という商品名で首都圏のスーパーで販売し、減農薬栽培による海鳥との共生をPRしています。



特別栽培米
ORORON 海鳥の詩

ここが自慢

【安全で安心な美味しいお米】

特別栽培米とは、北海道基準に比べて節減対象農薬の使用回数が23%以下、化学肥料の窒素成分量が40%以下で栽培されたお米です。

羽幌町の冷涼な気候が害虫や病害の発生を少なくしているため、農薬の使用を抑制し安全で安心な美味しいお米を生産しています。

販売は主にJ Aオロロン及び

インター
ネットを
通じて行
っています。



特別栽培米 おろろん

連絡先

代 表 者 名 : 川端 博明さん／設立：2007年／会員：3名

住 所 : 苫前郡羽幌町字上築464

電 話 番 号 : 0164-62-6221

F A X : 0164-62-6221

E-mail : -

U R L : <http://tokusai-ororonkamichiku.com/>

「わが村は美しくー北海道」運動とは

Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動

「景観」の形成

魅力ある活力に満ちた北海道

「地域特産物」のブランド化

活発な「人の交流」づくり

【地域特産物】

地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

【人の交流】

地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

多くの方の協力と連携により運動を推進

支援・応援

北海道田園委員会

学識者、民間企業、報道機関
地方自治体、生産者団体、実践者

- 運動の推進のため、国土交通省北海道局に設置
- 道内外の有識者で構成
- 運動の円滑な推進に対する提言

第8回コンクール大賞受賞団体

北海道幌加内高等学校【幌加内町】

「そば」を活用した学びを通して、人づくりと地域づくりをうまく結びつけた活動に取り組む



十勝パンを創る会【帯広市】

「十勝パン」ブランドの確立を目指して、地域に根差した商品の開発に取り組む



- 参加しようー中心となるのは、地域に住む人々
 - 広げようー活動の輪を大きく、自由に
 - 伝えようー北海道の「いいもの」を、もっと外へ
- 「地域の資源」を見つけよう
地域の個性を競い合い高め合い
地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

第9回「わが村」運動 コンクール

活動団体

↓ 応募(全道から61団体)

(1年目)
現地調査、優秀賞・奨励賞の選考

↓ ・ブロック毎に応募団体の現地調査、及び審査を実施し表彰団体を選考
・優秀賞団体、奨励賞団体を決定

表彰式

(2年目)
大賞の選考

↓ ・各ブロックの優秀賞受賞団体の中から大賞団体を決定

大賞表彰式

H30年度

H31年度

多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ky/nou_sln/ud49g7000000emhm.html
→活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信
→活動団体への情報提供
→活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌
→「THE JR Hokkaido」への掲載 (JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR
→地域イベントに参加し 団体活動を紹介
- 札幌「チカホ」でPR
→デジタルサイネージで放映 (札幌市の協力)
- facebook(フェイスブック)の取組 <https://www.facebook.com/wagamura>
→活動団体の最新情報を広く発信 (NPO わが村は美しくー北海道ネットワークとの共同運営)

